

整理番号	整 - 7 - 326	指定年月日・指定番号	令和 7 年 8 月 19 日	形 - 204	所在地	小野市王子町字太郎右兵衛門池868番 1 の一部	
調製・訂正年月日		令和 7 年 8 月 19 日 (調製)					
形質変更時要届出区域の概況		事業場			面積	28.90 m ²	
法第14条第 3 項の規定に基づき指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨				—			
最大形質変更深さより 1 メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかった土壌汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨、当該試料採取等の対象としなかった深さの位置及び特定有害物質の種類				—			
土壌汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壌汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該省略の理由				—			
汚染の除去等の措置が講じられた形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該汚染の除去等の措置				—			
第58条第 5 項第10号から第13号までに該当する区域にあつては、その旨				—			
形質変更時要届出区域内の土壌の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称	
	R7.6.18	ふっ素及びその化合物		溶出量基準		マックスエンジニアリング株式会社	
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準			
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準			
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準			
土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壌搬出	汚染土壌の処理方法	
					有・無	—	
					有・無		
					有・無		
					有・無		

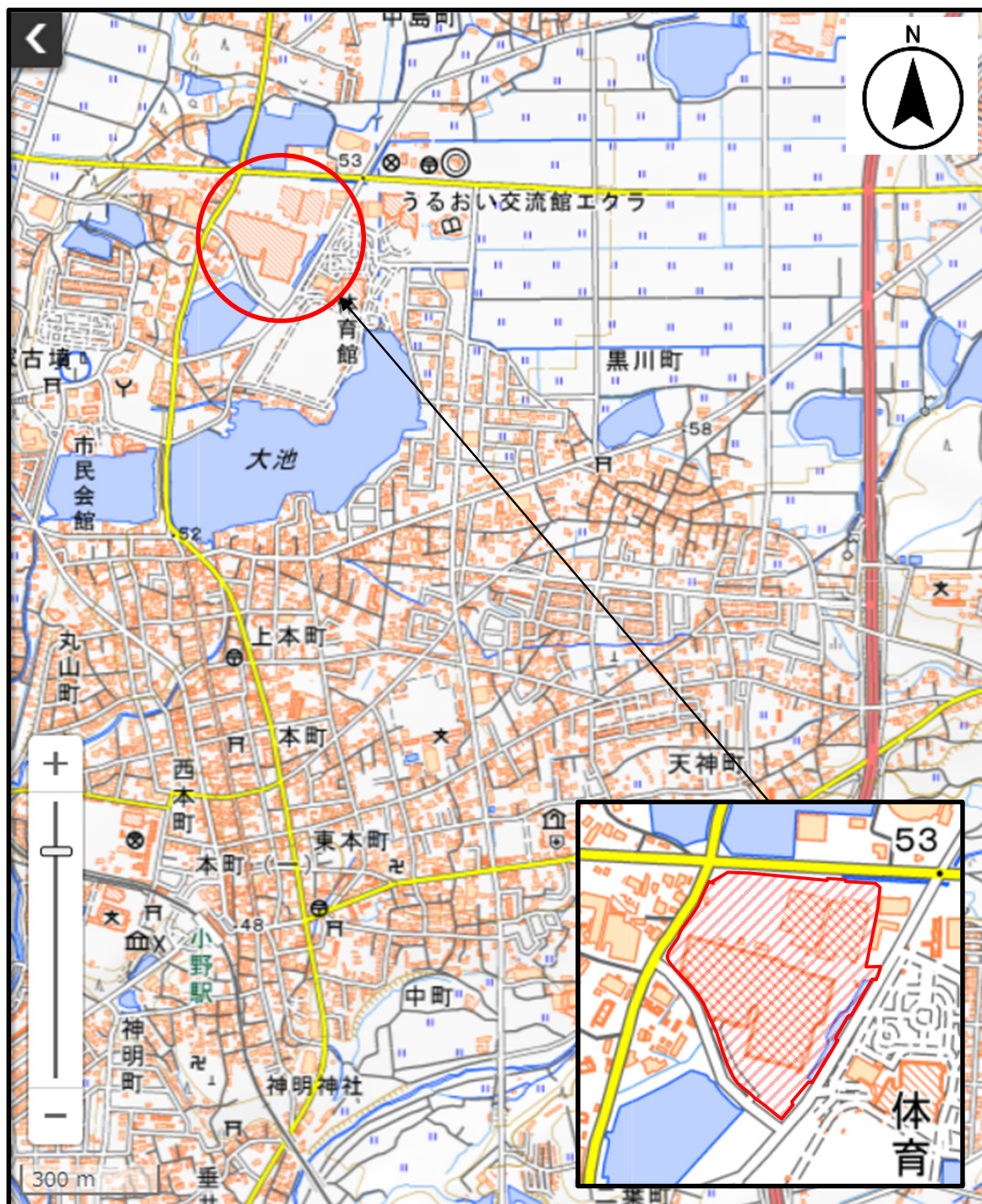
備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。
2 「形質変更時要届出区域内の土壌の汚染状態」については、土壌その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

<指定区域概要>

形質変更時要届出区域の概況	事業場
調査対象物質	土壤汚染対策法に定める特定有害物質全26種
指定基準超過物質	ふっ素及びその化合物（溶出量）
検出最大濃度※	ふっ素及びその化合物（溶出量：1.3mg/L）
基準値	ふっ素及びその化合物（溶出量：0.8mg/L）
告示日	令和7年8月19日 告示第795号（指定）
人への健康影響について	到達範囲には地下水が一般的に常態としてそのまま飲用されていると認められず、人へ健康影響のおそれはない。

※ 試料採取等調査で検出された濃度の最大値を示す。

調査対象地位置図



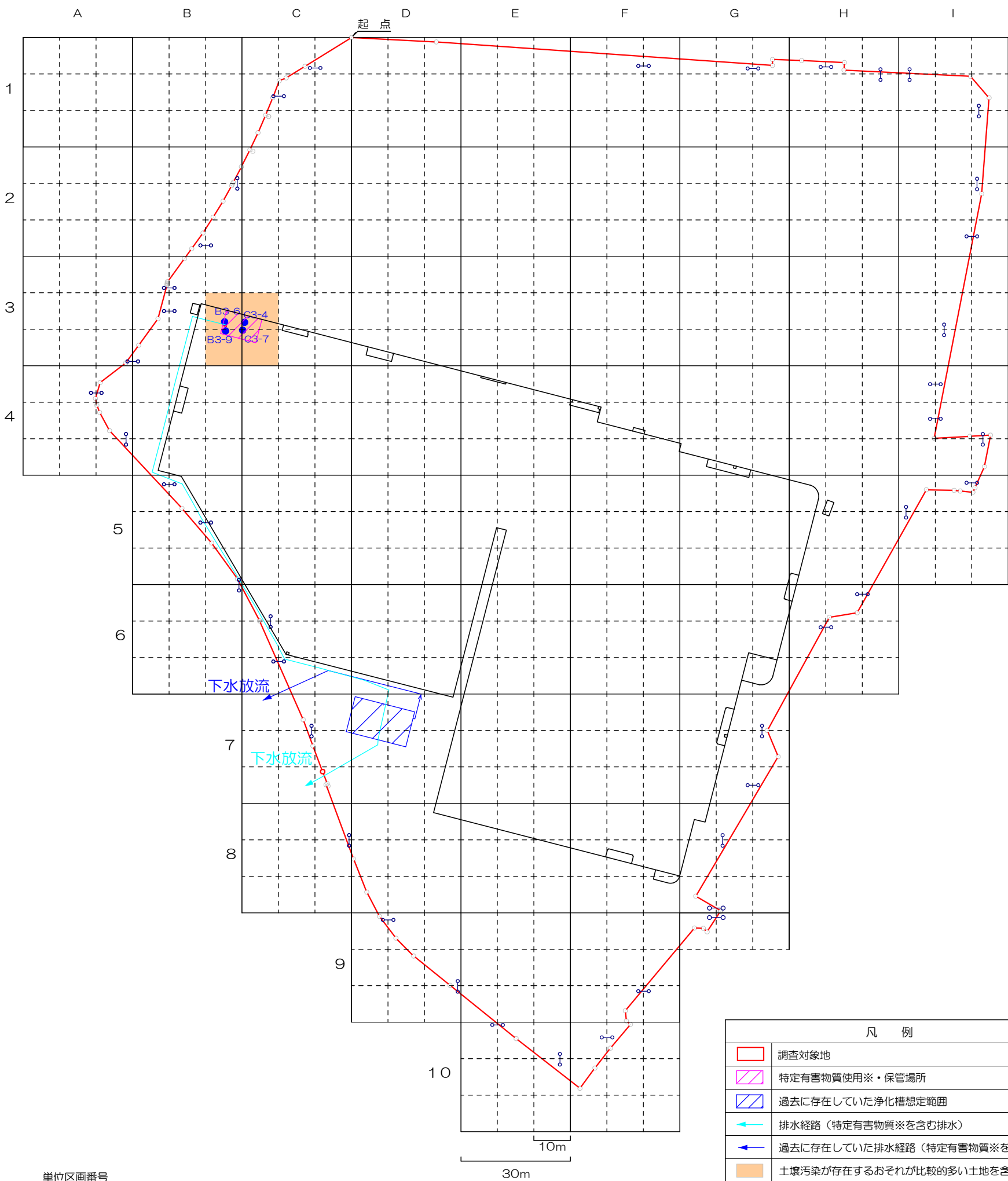
所 在

兵庫県小野市王子町・敷地町地内

図5. 現況地表面に対する土壌試料採取地点

(水銀及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物)

S = 1 : 1 2 0 0



単位区画番号		
1	2	3
4	5	6
7	8	9

凡 例	
	調査対象地
	特定有害物質使用※・保管場所
	過去に存在していた浄化槽想定範囲
	排水経路（特定有害物質※を含む排水）
	過去に存在していた排水経路（特定有害物質※を含む排水）
	土壌汚染が存在するおそれが比較的多い土地を含む範囲
	土壌汚染が存在するおそれが少ない土地を含む範囲
	土壌汚染が存在するおそれがない土地を含む範囲
	統合区画（130㎡以下）
	排水樹
	土壌試料採取（個別分析）

※ 水銀及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物

表 3. 現況地表面に対する土壌試料採取地点一覧表
(水銀及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物)

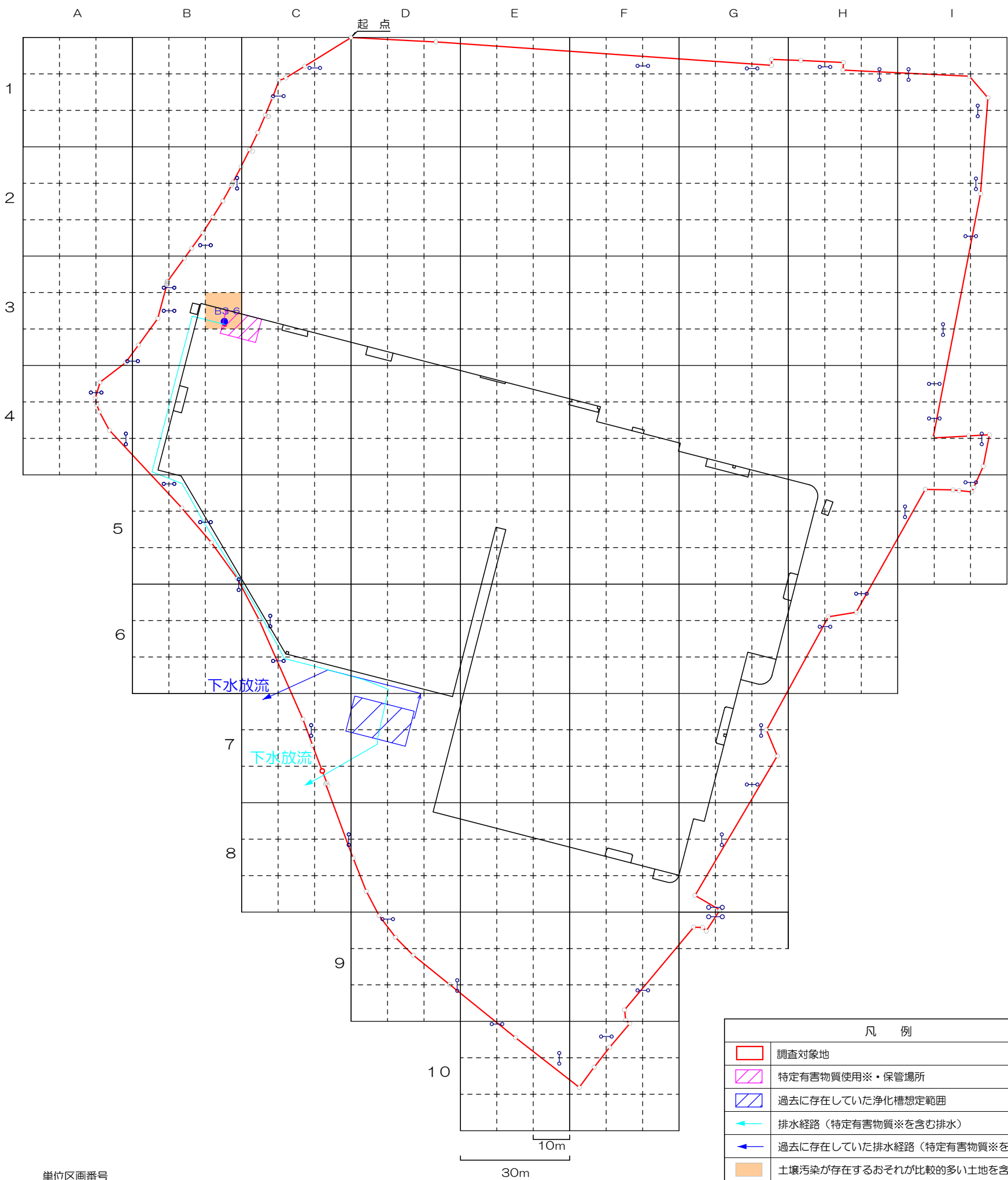
対象物質：第二種特定有害物質（水銀及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物）

30m 格子	単位 区画	試料採取 地点	土壌汚染の おそれの分類	面積（㎡）	区画の 統 合	土 壌 試 料 採 取 地 点 数		試料採取位置
B3	1		—	2.4	B3-2に統合			
	2		対象外区画	85.0	B3-1を統合			
	3		対象外区画	100.0	なし			
	4		—	26.6	B3-5に統合			
	5		対象外区画	100.0	B3-4を統合			
	6	B3-6	全部対象区画	100.0	なし	1	個別分析	単位区画の中心から南に2.9m、東に0.2m 排水柵近傍で採取
	7		対象外区画	83.8	A3-9を統合			
	8		対象外区画	100.0	なし			
	9	B3-9	全部対象区画	100.0	なし	1	個別分析	単位区画内の汚染のおそれの多いと認められる 土地の重心から北に0.5m、西に1.9mで採取
C3	1		対象外区画	100.0	なし			
	2		対象外区画	100.0	なし			
	3		対象外区画	100.0	なし			
	4	C3-4	全部対象区画	100.0	なし	1	個別分析	単位区画内の汚染のおそれの多いと認められる 土地の重心から北に0.1m、西に1.6mで採取
	5		対象外区画	100.0	なし			
	6		対象外区画	100.0	なし			
	7	C3-7	全部対象区画	100.0	なし	1	個別分析	単位区画内の汚染のおそれの多いと認められる 土地の重心から北に1.3m、西に2.0mで採取
	8		対象外区画	100.0	なし			
	9		対象外区画	100.0	なし			

図6. 排水柵下に対する土壌試料採取地点

(水銀及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物)

S = 1 : 1 2 0 0



単位区画番号		
1	2	3
4	5	6
7	8	9

凡 例	
	調査対象地
	特定有害物質使用※・保管場所
	過去に存在していた浄化槽想定範囲
	排水経路（特定有害物質※を含む排水）
	過去に存在していた排水経路（特定有害物質※を含む排水）
	土壌汚染が存在するおそれが比較的多い土地を含む範囲
	土壌汚染が存在するおそれが少ない土地を含む範囲
	土壌汚染が存在するおそれがない土地を含む範囲
	統合区画（130㎡以下）
	排水柵
	個別採取による土壌試料採取地点（排水柵下）

※ 水銀及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物

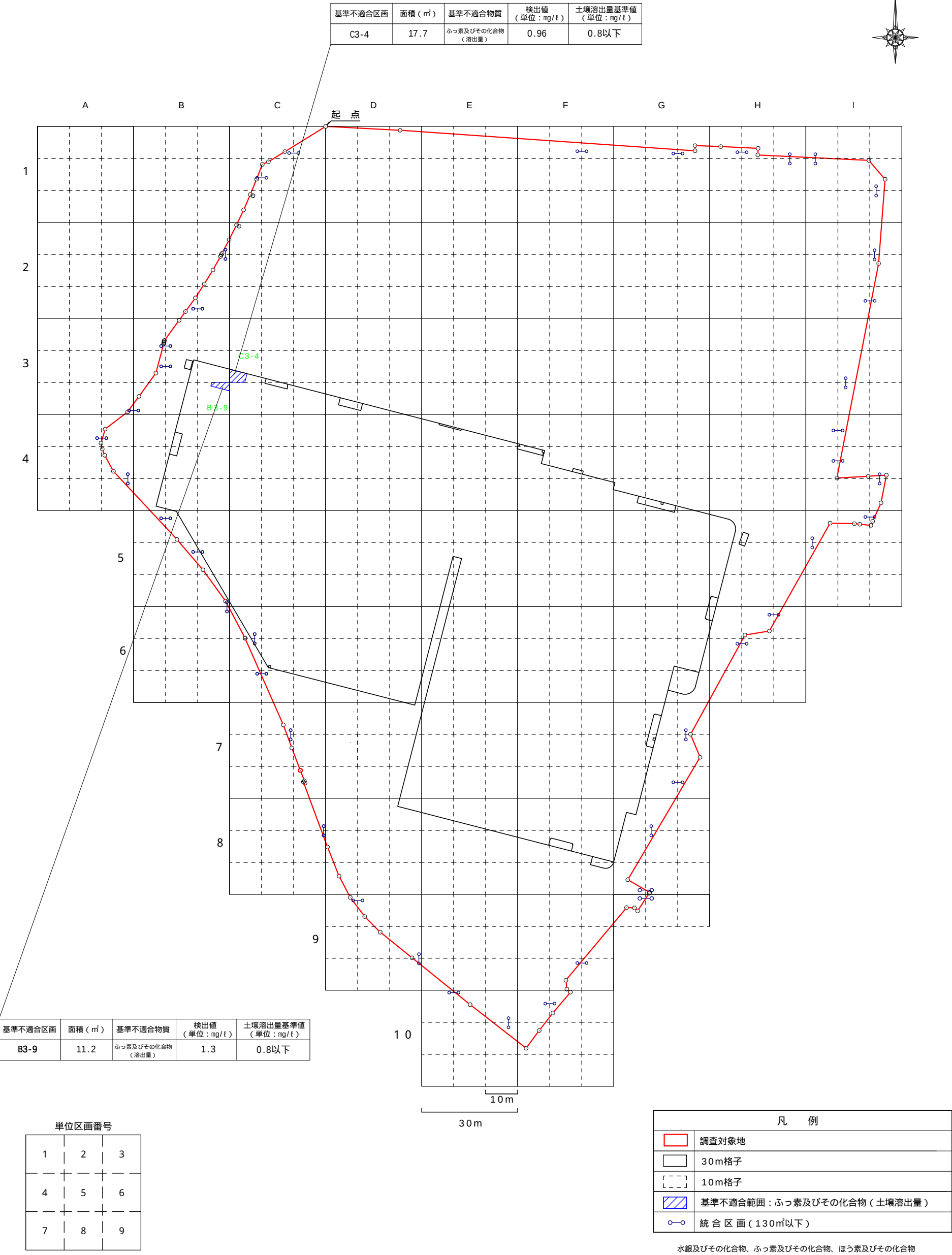
表 4. 排水柵下に対する土壌試料採取地点一覧表
(水銀及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物)

対象物質：第二種特定有害物質（水銀及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物）

30m 格子	単位 区画	試料採取 地点	土壌汚染の おそれの分類	面積 (㎡)	区画の 統 合	土 壌 試 料 採 取 地 点 数		試料採取位置
B3	1		—	2.4	B3-2に統合			
	2		対象外区画	85.0	B3-1を統合			
	3		対象外区画	100.0	なし			
	4		—	26.6	B3-5に統合			
	5		対象外区画	100.0	B3-4を統合			
	6	B3-6	全部対象区画	100.0	なし	1	個別分析	単位区画の中心から南に2.9m、東に0.2m 排水柵近傍で採取
	7		対象外区画	83.8	A3-9を統合			
	8		対象外区画	100.0	なし			
	9		全部対象区画	100.0	なし			

図7．基準不適合範囲

S = 1 : 1 2 0 0



基準不適合物質：ふっ素及びその化合物（溶出量基準）

基準不適合範囲	面積（㎡）	検出値 （単位：mg/ℓ）	土壌溶出量基準 （単位：mg/ℓ）
B3-9	11.2	1.3	0.8以下
C3-4	17.7	0.96	0.8以下
合計	28.9		